

講演会

- ①平成28年12月17日(土)
13時30分～ 県立博物館講堂
演題「石沢慈鳥鳥類コレクションとは」
講師 奥山 武夫氏
(元山形県立博物館 副館長)
- 演題「父・祖父 石沢慈鳥の思い出」
講師 桶舎 富士子氏
桶舎 典哲氏
(首都大学東京 教授)
- ②平成29年2月11日(土)
13時30分～ 県立博物館講堂
「モノから振り返る昭和の暮らし
ー終戦から昭和の終わりまで」
パネリスト 友の会会員

展示解説会

- 平成28年12月24日(土)
13時30分～ 音と映像
- 平成29年1月14日(土)
13時30分～ 暮らしの家電
- 平成29年1月28日(土)
13時30分～ 昭和のあそび
※友の会会員による解説
いずれも会場は第3展示室



私

たちのたからもの

ーモノから振り返る昭和の暮らし
終戦から昭和の終わりまでー

第8回 山形県立博物館・同友の会共同企画展

2016

12/17(土)

「☆☆☆☆」

2017

2/19(日)

開館時間 9時～16時30分(16時まで入館できます) 休館日 月曜日(年末年始(12/29(木)～1/3(火))、1/9(月)休館、1/10(火)開館)
入館料 大人300円(20名以上の団体150円)、学生150円(20名以上の団体70円) ※高校生以下無料、障がい者の方と付添の方は無料
〒990-0826 山形市霞城町1-8 電話 023-645-1111 FAX 023-645-1112 URL <http://www.yamagata-museum.jp/>

画像(上から レコードプレイヤーとSPレコード、雑誌『暮しの手帖』、リコーオートハーフカメラ、ブリキのおもちゃ(外国車) いずれも個人蔵)

私たちのたからもの —モノから振り返る昭和の暮らし 終戦から昭和の終わりまで—

ごあいさつ

山形県立博物館と山形県立博物館友の会との共同企画展『私たちのたからもの』は、今回で第8回目となります。今回は“みんなのたから”と“私のたから”の2部構成で行います。

一つ目は、“みんなのたから”である当館所蔵の『石沢慈鳥鳥類コレクション』に関する展示です。これは故石沢慈鳥氏により山形県に寄贈された、戦前戦後に国内外で採集された多数の鳥類資料であり、今となっては得られない貴重なコレクションです。

二つ目は、友の会会員の“私のたからもの”である『モノから振り返る昭和の暮らし—終戦から昭和の終わりまで—』の展示です。昭和20年の終戦から昭和の終わりまでの約40年間の暮らしと文化をモノから振り返ります。

昭和30年代からの経済成長期の暮らしの3種の神器は、白黒テレビ・電気洗濯機・電気冷蔵庫ですが、当時のものはほとんどみることができません。終戦直後の混乱期・復興期・高度経済成長期の山形の社会を記憶するモノや暮らし・あそび・まなびの道具を友の会会員から募りました。たからものの数々を是非ご覧下さい。

2016年12月17日
山形県立博物館友の会 講座・展示委員会



石沢慈鳥鳥類コレクションの一部（本館蔵）



高畠線（高畠—竹ノ森間）電鉄 昭和48年 田植えの頃 本館蔵

展示構成

○みんなのたから

石沢慈鳥鳥類コレクション

○私のたから

モノから振り返る昭和の暮らし

—終戦から昭和の終わりまで—

- ・社会のうごき
- ・暮らし
- ・あそび
- ・まなび
- ・おもいででの山形の私鉄

主な展示資料

- ・石沢慈鳥鳥類コレクション
- ・戦後の日本銀行券
- ・雑誌（『暮らしの手帖』ほか）
- ・扇風機
- ・ラジオ
- ・カメラ
- ・おもちゃ（ブリキの車など）

など



交通案内

徒歩 JR山形駅西口より10分

車 山形道山形蔵王 I.C. より5 Km（約15分）

東北中央道山形中央 I.C. より3 Km（約10分）

※霞城公園北門からお入り下さい。